

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	すまいる工房
住 所	一宮市昭和1丁目3-27
電話番号	0586-47-2122

事業所番号	2312102623
管理者名	遠藤 理沙
対象年度	令和6年度

(Ⅰ) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		40 点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(Ⅱ) 生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		50

（Ⅲ）多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		15 点
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）	7	点

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

（Ⅳ）支援力向上（※）		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15 点
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	5	点

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

（Ⅴ）地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点
1事例以上ある場合：10点		

（Ⅵ）経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0 点
期限内に提出していない場合：-50点		

（Ⅶ）利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10 点
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数							
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点		
多様な働き方	0点	5点	15点					
支援力向上	0点	5点	15点					
地域連携活動	0点	10点						
経営改善計画	0点	-50点						
利用者の知識・能力向上	0点	10点						

合計
140 点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間					
前年度（ 6 年度）					
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	24,894	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	5,729	人
				利用者の1日の平均労働時間数	4.35
					時間
(Ⅱ) 生産活動					
会計期間（ 4 月～ 3 月）					
前々々年度（ 4 年度）					
生産活動収入から経費を除いた額		円	利用者に支払った賃金総額		円
			収支	0	円
前々年度（ 5 年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	8,639,221	円	利用者に支払った賃金総額	8,382,337	円
			収支	256,884	円
前年度（ 6 年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	26,758,469	円	利用者に支払った賃金総額	26,514,253	円
			収支	244,216	円
(Ⅲ) 多様な働き方					
前年度（ 5年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）					
①免許・資格取得、検定の受検助奨に関する制度		②利用者を職員として登用する制度		③在宅勤務に係る労働条件及び勤務規律	
◎免許・資格取得・検定の受検助奨に関する制度を定めている ☒		◎利用者を職員として登用する制度を定めている ☒		在宅勤務に係る労働条件及び勤務規律に関する制度を定めている ☒	
④フレックスタイム制に係る労働条件		⑤短時間勤務に係る労働条件		⑥時差出勤制度に係る労働条件	
◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている ☐		◎短時間勤務に係る労働条件を定めている ☒		◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている ☒	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		⑧傷病休暇等の取得に関する事項			
◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている ☒		◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている ☒			
(Ⅳ) 支援力向上					
前年度（ 5年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）					
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		②研修、学会等又は学会誌等において発表		③視察・実習の実施又は受け入れ	
◎研修計画を策定している ☒		◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している ☒		◎先進的事業者の視察・実習の実施している ☒	
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。 ☒		※研修、学会等名 日本障がい者就労支援学会シンポジウム		※先進的事業者名	
※研修名 精神障害を持つ利用者への向き合い方		実施日 2月 26日		実施日/参加者数 月 日 人	
研修講師 認定看護師 宮川省吾		※学会誌等名		※他の事業所名 ほまれの家名城	
実施日・受講者数 1月 22日 2人		掲載日 月 日		実施日/参加者数 11月 18日 1人	
発表テーマ 一般就労への支援事例					
④販路拡大の商談会等への参加		⑤職員の人事評価制度		⑥ピアサポーターの配置	
◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。 ☒		◎職員の人事評価制度を整備している ☒		◎ピアサポーターを配置している ☐	
※商談会等名 生産活動についての情報交換会		◎当該人事評価制度を周知している ☒		◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している ☐	
主催者名 株式会社フォープラン		人事評価制度の制定日 6年 12月 6日		※配置期間 月 日～ 月 日	
日時 2月 21日		人事評価制度の対象職員数 7名		就業時間	
内容 生産活動についての情報交換		うち昇給・昇格を行った者 1名		職務内容	
		当該人事評価制度の周知方法 常時見やすい場所に備え付け			
⑦第三者評価		⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等			
◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている ☐		◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証を受けている ☐			
※評価を受けた日 月 日		※認証を受けた日 月 日			
第三者評価機関		規格等の内容			
(Ⅵ) 経営改善計画					
◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。 ☐					
※受理日 年 月 日					

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

令和 7 年 3 月 31 日

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	すまいる工房	事業所番号	2312102623
住 所	一宮市昭和一丁目 3 番 2 7 号メゾンショワール 1 階	管理者名	遠藤 理沙
電話番号	0586-47-2122	対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要

＜活動内容＞ ◆ 活動場所 : ものづくり工房WORKSHOP TANAKA ◆ 実施日程 : 月曜日～金曜日 ◆ 実施した生産活動 : ギフト商品の箱詰め作業 ◆ 施設外就労の概要 ◆ 利用者数 : 1日/2～3名		＜活動の様子＞ ◆ 活動の様子の写真・成果物の写真 	
＜目的＞ ◆ 地域連携活動のねらい : 事業所外での就労経験の確保 ◆ 地域にとってのメリット : 障がい者雇用の生産活動により活性化を得る ◆ 対象者にとってのメリット : 地域にて一般就労へ向けての実体験が得られる			
＜成果＞ ◆ 実施した結果 : 事業所外で就労することによって仕事に対する自信やが得られた ◆ 得られた成果 : 経験を積むことで自信に繋がった ◆ 課題点 : 業務内容と本人の希望との不一致		◆ 活動内容の追加コメント ギフト商品の箱を組立て、中に 2 種類の洗剤を左右間違えずに詰めて、商品の箱を閉じて梱包を行う様子	

連携先の企業等の意見または評価

◆ 連携した結果に対する意見または評価 納期をしっかりと守りながら、品質の向上に努めている職員さんへも感謝しております。			
◆ 今後の連携強化に向けた課題 安全に働けるように整理整頓への意識を高める。 難しい作業も積極的に覚えて仕事の幅を広げていただければ助かる。			
連携先企業名	ものづくり工房 WORKSHOP TANAKA	担当者名	木村

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	すまいる工房	事業所番号	2312102623
住 所	一宮市昭和一丁目3番27号メゾンショール1階	管理者名	遠藤 理沙
電話番号	0586-47-2122	対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容> 活動場所 日鉄電磁株式会社 活動日程 令和6年10月14日 実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要 日鉄電磁株式会社と連携し、すまいる工房では請負っていない企業従業員様の食事（弁当）の食数の検品や食器やお茶や調味料のセッティングや食堂の清掃の研修を行った。	<活動の様子>      
<目的> 企業様が実際に障がい者雇用を考えている部署にて、利用者が一般就労へ繋がるようになるための研修	
<成果> 実施した結果 ・一般企業の雰囲気や、どのようなことを向上させていけば良いかの、心構えや準備することを学ぶことができた ・企業担当者様やシルバー人材センターの方々と接する機会ができてコミュニケーション能力の向上ができた。	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

・実際に一般企業にて働くことにより、自分自身の目標が明確となった。 ・企業担当者様より、どのような人材を求められるのか等の話しが直接聞けて、自信の課題や目標に気づき、より一層一般就労への意識が向上が高まった。	
連携先企業（担当者）	馬淵

利用者からの意見・評価

・自信の課題や目標に気づくことができた。 ・関わっていただいた方々にとても親切にしてもらい研修先企業にて一般就労を目指したい。
